

令和3年度 資源循環局 運営方針

1 基本目標

- 新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、ごみ処理をしっかりと継続し、安全安心な市民生活と事業活動を支えます。
- 市民の皆様のごみ出し支援などを通じて、市民サービスのさらなる向上を追求します。
- 2050年脱炭素化(Zero Carbon Yokohama)に向けた取組を推進します。

2 目標達成に向けた施策

重点施策	主な取組・内容
ごみ処理の継続と市民サービスの向上	新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、ごみ処理の継続と、市民サービスの向上に取り組めます。 ○感染防止対策など、ごみ処理を継続するための取組 ○ふれあい収集など、ごみ出しが困難な方を支援する取組 ○粗大ごみ申込み・排出の利便性向上 ○オンラインの活用など、ウィズコロナに対応し、アフターコロナも見据えた環境学習や啓発活動の推進
プラスチック対策・食品ロスの削減の推進	市民・事業者と連携を図りながら、プラスチック対策の推進・食品ロスの削減に取り組めます。 ○プラスチック対策の推進 ・小売店舗と連携した「プラごみ削減キャンペーン」の実施 ・国の動向に応じた新たな施策の検討 ○食品ロスの削減 ・国際機関や事業者、地域団体等と連携した取組 ・「食品ロス削減月間」(10月)での集中的な広報啓発などの取組
ごみ焼却工場再整備を始めとした 将来を見据えた施設整備	安定的なごみ処理の継続に加え、「環境にやさしいエネルギー」のさらなる創出を進めます。 ○保土ヶ谷工場の再整備に向けた取組 ・工場整備計画の策定、環境影響調査等の実施 ○鶴見工場の長寿命化対策 ・焼却炉等改修工事、クレーン制御装置工事等の実施 ○南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場における排水処理機能の増強

その他推進施策

3Rの推進	まちの美化	国際協力	PCB廃棄物対策	災害対策
-------	-------	------	----------	------

3 目標達成に向けた組織運営

現場主義の徹底

現場で働く職員の日線を大切にし、組織が丸となって業務に取り組めます。

信頼・期待に応える行政の推進

市民の皆様からの信頼確保に向け、不適切な事務処理、個人情報漏えいなどの不祥事や、作業中の事故、公務災害の防止に全職員で取り組みます。

多様な社会ニーズへの対応

市民・事業者・区局との連携を意識し、福祉・防災・多文化共生など地域のニーズに対応します。

デジタル化による市民サービス向上

ごみ分別案内チャットボットの活用による情報提供の充実や、手続きの簡素化などに取り組めます。

職員の意欲と能力を発揮できる環境づくり

育児・介護と仕事の両立支援や男女共同参画等の視点を踏まえ、職員のワークライフバランスを推進し、意欲と能力を最大限に発揮できる風通しの良い職場環境づくりを進めます。